

藤岡市 議会だより

◆発行日 平成22年5月15日 ◆発行 藤岡市議会 ◆編集 藤岡市議会だより編集委員会 ◆印刷 有限会社大石印刷
◆藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第50号



都市計画道路 中・上大塚線開通式

3月定例会の あらまし

定例会は、3月2日から3月18日までの17日間の会期で開催されました。

平成22年度藤岡市一般会計予算など45議案が提出されました。

◇2・3日〓本会議 会期の決定。

議案44件を上程、うち26議案を即決。

◇4日〓総務常任委員会、経済建設常任委員会。

◇5日〓教務厚生常任委員会。

◇9・10・11日〓予算特別委員会。

◇15日〓本会議 一般質問。

◇18日〓本会議 委員会付託議案18件を可決。議員提出議案1件を可決。

農家への支援について

湯井 廣志

問 世界中の経済不況で今、大変な状況になっている。これは企業のみならず農家も同じである。農家は天候にも左右され、非常に苦しい実態にある。全資産を処分しても負債を返済できない農家や、負債が資産を上回り農業を続けるのが困難な農家もある。

行政は何らかの対策を早急に打たなければなりません。農家に対し一部の補助金はあるものの支

援が少ない。今後は補助を増やすのも難しい。高崎市では、新たな試みとして貸付金の運用による助成制度を始めた。

税金を使い支援するのでなく、JAに市の資金を預け運用し、その運用益で農家を支援し、高騰している肥料、飼料代の一部にあててもらうものです。市の資金が減ることなく逆に市に利子も入る一石二鳥の支援策であると考えます。藤岡市で始める考えはないか伺います。

答 新たな支援策として検討していきたいと考えます。



職員の兼業について

問 地方公務員法では一部の例外はあるものの職員の兼業は禁止されている。最近、高崎市の職員が

代行運転手のアルバイト中に死亡事故を起こし、懲戒免職になっている。藤岡市では数年前、空手を通して青少年の健全育成のために空手教室を開き収入を得たとして退職している。

現在25名の兼業届出者がいるが、これ以外でも兼業している職員はいる。地方公務員法では想定できない様な兼業実態が結構ある。僧侶のお布施や露天商、昆虫を東京に出荷して収入を得ている職員もいる。

職員課に確認しても、

地方公務員法には抵触しないから構いませんと言っている。青少年の育成で空手教室を開き収入を得て退職した職員もいれば、職場の中でお経の練習をし、お布施を得る職員もいる。職員課は、職員の状況をしっかり把握し、今後どう対処していくのか伺います。

答 職員が市民から疑惑を招くことがないよう指導していきたい。また、そうした事例が発覚した場合、厳しく対処していきたいと考えます。

PFI方式について

窪田 行隆

問 PFI方式は民間活力により公共事業を実施する手法の一つですが、自治体が発注する公共事業であり、民営化とは違います。その目的は、安くて質の高い公共サービスの提供です。藤岡市でもPFI方式を施設整備の手法の一つとして検討すべきと考えますが伺います。

択肢の一つと考えます。

問 PFI方式で整備された山形県東根市学校給食センターを視察しましたが、安全性、効率性に優れた施設であり、経費の面でも大幅な圧縮となっていました。藤岡市でも具体的な施設について、PFI方式を選択肢として検討しているのか伺います。

答 学校給食センターの整備について、今後具体的な検討をする中で一つの方法として検討しています。

きたいと考えています。

脳脊髄液減少症への対応について

問 脳脊髄液減少症は交通事故や転倒・転落、スポーツ外傷等が原因で起こる病気で、頭痛・目まい・倦怠感・記憶障害等の症状があるのに、周囲の人に理解されず多くの方が苦しんでいます。誰でも起こる可能性があり、児童・生徒を守るために、特に教育現場での理解が必要です。国は平成19年5月に学校での対応について

通知を出していますが、藤岡市の対応について伺います。

答 今後児童・生徒の事故防止に努めるとともに、養護教諭部会にて講師を呼び、研修会を実施、その後各学校で養護教諭が研修会を行い教職員に知らせる周知を図り、この病気によってつらい思いをする児童・生徒が出ないよう努めていきたいと考えています。

問 市民に対しても幅広く広報を行い、この病気

答 今後、国や県からの保健情報などを収集し、正確な情報を得た上で広報ふじおかや市ホームページ等に掲載して、市民の理解が深まるように努めていきたいと考えています。



LED灯の導入について

冬木 一俊

問 LED防犯灯の設置事業を藤岡市では、平成21年度より実施しているが、3年間の予算額について伺います。

答 平成21年度の予算が224万円。平成22年度、平成23年度がそれぞれ560万円、総額1344万円です。

問 今後のLED防犯灯の導入計画について伺います。

答 平成21年度から平成23年度までで地域グリーンニューデール基金の補助が終了しますが、国の補助事業等よく調査し、引き続き設置について調査研究していきたいと思っています。

問 蛍光管型LEDの照明については、初期コストは高いという問題はありますが、二酸化炭素の削減や電気料金の節約等、民間業者も数多く導入をしています。

藤岡市の公共施設にも積極的に導入を検討すべ

きと考えますが見解を伺います。

答 まずは、小規模な市有施設での試験的な導入を図り、検証をしたいと考えています。

学校給食センターについて

問 学校給食センターの現在の衛生管理状況について伺います。

答 施設面については、国の学校給食衛生管理の基準に基づき行っています。

人的な面については、毎朝11項目の健康チェックや2週間に1回の検便を実施しています。

問 第一調理場と第二調理場の問題点について伺います。

答 第一調理場については、築32年が経過し施設の老朽化が進んでおり、国の衛生基準に100%適合していませんが、職員の創意工夫により安全を確保しています。

第二調理場については、国の基準は満たしていま

すが、築22年が経過しているため修理箇所も多くなっています。

問 今後の学校給食センターの運営の方向性について伺います。

答 今後、衛生の専門家、保護者、学校関係者等の意見を聞きながら検討する中で、現在と同じ公設で運営するのか、あるいはPFI方式や民間委託等で運営するのが良いのか、十分議論していきたいと考えています。

寺尾藤岡線バイパスについて

渡辺 新一郎

問 現在の進捗状況と今後の計画について伺います。

答 群馬県事業として実施していただくよう高崎市と連携を取り、平成6年11月に主要地方道寺尾藤岡線バイパス建設促進協議会を発足し、その建設促進に向け積極的な要望活動を行ってきました。

また、昨年10月には、県道路整備課、県都市計画課、高崎土木事務所、

藤岡土木事務所、高崎市、藤岡市職員を構成員として、早期実現に向けた整備手法の具体的な検討を行う検討会が開催されました。その後、3回検討会を開催し、将来交通量の推計を行い、これを基に道路の幅員や優先整備区間の検討等を行っており、今後この成果が事業実施に向けた計画につながると考えます。

問 藤岡市のメリットについて伺います。

答 国道17号線へのアク

セスとして前橋長瀬線バイパスとの機能分担により交通渋滞の緩和。高崎南部地区からの藤岡インターチェンジ利用者の増加が見込まれることから、都市計画マスタープランに新市街地として位置づけられているインター周辺地区の活性化につながる等、本道路が藤岡市の将来に及ぼす影響は多大なものがあると考えます。

問 何年ぐらいを目標にして橋をかけるのか伺います。

答 橋の長さが400数十メートルですので、橋の工事だけでも6年から7年位かかると考えます。

市街地活性化について

問 市街地活性化について市の基本的な考え方について伺います。

答 基本計画策定に当たっては、地域住民等さまざまな主体を巻き込み、多様な担い手の参画を得た協議の場が組織されるなど、十分協議が行われ理解を得る事や確実に実

施できるよう地域ぐるみで取り組む事になっていきます。市としても、地域住民や地元地権者、地域関係者等の参画、協働を得て、地域ぐるみで取り組んでいただくよう働きかけていきたい。

問 空き店舗の活用事業補助金の平成22年度予算について伺います。

答 補助限度額の月額3万円を上限に最長12ヶ月、2店分として72万円を計上しています。

藤岡市・高崎市ガス
企業団の売却について

青柳 正敏

問 東京ガス株式会社が供給する高崎地域のガス料金は、藤岡市・高崎市ガス企業団の料金より高く、譲渡後3年間の地域別料金設定をするというが、3年後の値上げは必至であり、ガス企業団として継続する方が市民利益になると思っています。

答 東京ガスへの譲渡により経営の合理化が図られ、長期的にはガス料金が安

くなると思っています。

問 ガス企業団の整理に關して職員の身分を引き受けなければならないという規定は無いと前回答弁している。藤岡市は行財政改革の一環で人件費抑制から勧奨退職制度の導入をしており、ガス企業団職員の受け入れは有益なこの制度に逆行すると思う。

また、ガス企業団事業の整理で職員が路頭に迷わない様にとの配慮については、東京ガスが正社員として平成21年度の給

与相当額を保障するという最高の条件提示をしたが、この内容をどう受け止めているのか伺います。

答 大変ご理解いただき好条件を出していただいたと思う。今回のケースは単に一企業の職員を引き受けるのではなく、ガス企業団構成市が政策により廃止する事業であり、失職する職員を採用するものです。

問 藤岡市は意向調査の中に、なぜ高崎市や藤岡市を入れたのか。平成22

年度は新採用の18名で適正な人員配置がされた訳であり、ガス企業団からの15名の採用は職員救済のためなのか。仕事が無い中、大切な税金を使うことに市民は納得しないと思うが、採用人員数についてはどの様に決定しているのか伺います。

答 定年退職者と勧奨退職者の人数を把握し、採用を計画的に行っている。また、今後の採用に当たっては市民の税金の無駄使いということのないよう、十分職員配置等調

整し実施していきたい。

問 高卒・大卒者の就職内定率が非常に悪い中15人の東京ガス採用を蹴った市長の責任は大きいと思うが伺います。

答 ガス企業団からの15名には、経験をもとに市行政の推進に当たり、適正な場所でしたらと仕事をしてもらえと思っています。



公共事業削減について

茂木 光雄

問 国の公共事業費削減により藤岡市に及ぼす影響について伺います。

答 平成22年度、国の予算の公共事業関係費は、前年度比で18・3%減となっている。

これまでの個別補助金を原則廃止して、社会資本整備総合交付金、農山漁村地域整備交付金を創設するとされているが、制度の詳細が示されていないため、どのような影

響があるか、現段階では不明である。

問 藤岡インター周辺地域整備構想書について伺います。

答 この構想書は、平成21年3月に群馬県職員、藤岡市職員で組織する検討委員会で作成し、知事、市長に報告しました。その内容は、中・短期の開発エリアをインターチェンジ西側と定め、これを組合区画整理事業によ

って市街化区域編入を行い、そこいらら藤岡内にあ

る高速バスターミナルを移設し、民間主導による産業交流施設を展開し、らら藤岡と一体的な集客機能施設の充実を図る構想ですが、景気を反映してか民間企業からの提案はない。

広報ふじおかについて

問 市民にもっと読まれ、情報を正確に伝えるための紙面の改造と発行回数

の見直しについて伺います。

答 月2回の広報を1回にすることも検討しており、

発行がベターかと思いついては、昨年9月に実施したアンケート結果を参考に、紙面の字を大きくし、ページ構成を変更、連載コーナーを見直しするなどして、この4月から少し変えていきたいと考えています。



義務教育の保護者への 教育費負担について

渡辺 徳治

問 昨年11月に政府が発表した日本の相対的貧困率は1997年以降最悪になった。その原因については雇用破壊による非正規労働者の低賃金などの分配問題に加え、所得の再分配においても税と社会保障制度がその役割を果たしていないためだと強調しています。

本来、税や社会保障には貧富の格差をなくし、貧困を減らす役割がある

にもかかわらず、日本ではそれが発揮されていません。この間の貧困と格差は子育て世代に深刻な打撃を与えています。

政府の世論調査によれば、子育ての辛さの一番は、子どもの将来の教育にお金がかかるが39・2%、子どもの小さい時の子育てにお金がかかるが20・1%。一方、児童のいる世帯の平均所得は、1996年以降11年で9万円も減っています。

日本の子どものいる現役世代の貧困率は経済協力開発機構30ヶ国のうち

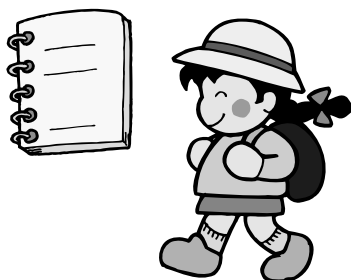
19番目で、子どもの貧困率は14・2%という状況にあると報道しています。

義務教育の保護者の教育費負担についてですが、学用品や修学旅行費、学級費など、学校教育費が小学校で5万6020円、中学校で13万8044円の負担だと統計が出されています。その上中学校では、制服の上着が2万1580円、ズボンが1万800円、更に体育着の半袖、長袖、ポロシャツ、着替えを考えると2セットで5万円近い出費になると言われています。藤岡

市での実態はどうなっているか伺います。

答 学校により若干差がありますが、小学校では問題集や資料集など教材費として2万円、児童会費やPTA会費が5000円、また日帰りバス旅行が5000円、5年生が参加する臨海学校は1万円、6年生が行く修学旅行は2万円程度となっています。中学校では教材費が3万円、生徒会費やPTA会費に1万2000円、修学旅行積立が3万8000円程度

度となっています。制服については男子用が2万8000円、女子用が3万円、体操服は上下1組で1万3000円程度となっています。



子育て支援について

斉藤千枝子

問 母子健康手帳の交付と共に父親に子育ての手助けと応援のために、「父親ハンドブック」を交付できないか伺います。

答 母子健康手帳交付時にメッセージカードを渡したり、市発行の子育て情報誌に、父親にも役立つ情報を増やすなど工夫してまいります。

問 産前産後の母親に手助けをする人がいない家

庭などに、育児や家事のお手伝いを行う育児支援ヘルパー事業ができないか伺います。

答 現在育児支援ヘルパー事業は実施していませんが、ファミリーサポートセンター事業を実施しています。生後3ヶ月から10歳までの児童が対象となつていますので、今後は事業の充実を図り、育児、子育て支援を行いたいと考えます。

問 産後1ヶ月健康診断は医療保険の適用がない



ため、自己負担です。市として助成できないか伺います。

答 1ヶ月健診は母子共に大切な健診です。安心して子供を産み育てるため、妊娠、出産、子育てを通して支援できるよう検討します。

高齢者の交通事故 対策について

問 現状と藤岡市の対策について伺います。

答 事故の発生時刻は午前7時から9時までの2時間と、午後3時から7時までの4時間に多発しており、主な原因は一時不停止が最も多く、交差点内で多く発生しています。

安全対策は、思いやりのある運転の励行についての街頭指導や高齢者自

身の安全行動の実践を実施。反射材の普及と推進を図る目的で交通安全講習など行っています。

今後とも警察等と連携し、高齢者を対象に交通安全教室を実施していきたい。

問 運転免許証を自主返納する方への支援サービスについて伺います。

答 群馬県ハイヤー協会では地区限定で返納者割引として料金の1割引を行っている。市の支援サービスについては今後調査研究を行い検討していきたい。

総務常任委員会報告

所管調査

平成22年2月9日（火）午前9時30分より

担当課長より概要説明を受けた後、質疑応答等を行い、現地調査を実施。

【選挙事務について】

今年、来年と統一地方選挙が実施される中、時代に合わせた選挙事務の迅速化、また、より正確な情報提供が要求される今、選挙事務が一般には周知されていないことから、調査を行った。

平成21年12月2日現在の藤岡市の有権者の登録者数は総数で5万6554名で、男2万7621名、女2万8933名。市内には現在43箇所の投票所があり、投票時間は繰り上げ閉鎖をしており午前7時から午後7時、また、地域によっては午後6時までとなっている。開

【裁判員制度について】

平成21年5月に始まったこの制度は、国民の中から裁判員が選ばれるため、制度を一人一人が理解する必要があることから調査を行った。

票作業は、無駄な動きを最小限にするため、票の一方通行を実施し、また、票を見やすくするため、開被台に黒布を張り、票を揃える手間を省くために、候補者ごとに分けられたイチゴパックを利用、また、計算作業は開票システムが導入され、正確さと迅速化に向けた取り組みが実施されていると感じた。

裁判員制度とは、国民から選ばれる裁判員が刑事裁判に参加する制度で、裁判官とともに刑事裁判に立ち会い、被告人が有罪か無罪か、有罪の場合にはその量刑を判断する制度です。しかしながら、まだ定着していないため、今後も議論を重ね、国民が安心して参加できる制度にすべきと感じた。

【緑地クリーンセンターについて】

環境問題がとりざたされている今、このセンターの役割と今後の方向性、環境に対する理解を深める事から調査を行った。廃棄物埋立実績データ

を基に説明を受けたところ、緻密な検査体制がとられており安心したが、地元では、独自に水質検査を年2回、緑地地区環境維持委員会の予算で行っているという聞き、考えさせられた。



また、埋立期間は平成32年までの予定で、当初計画より6年延びたが、代替地の検討も早急に進めるべきと感じた。



委員長	渡辺新一郎
副委員長	松村 晋之
委員	山田 朱美
委員	茂木 光雄
委員	冬木 一俊
委員	佐藤 淳
委員	隅田川徳一
委員	吉田 達哉

議会一口メモ

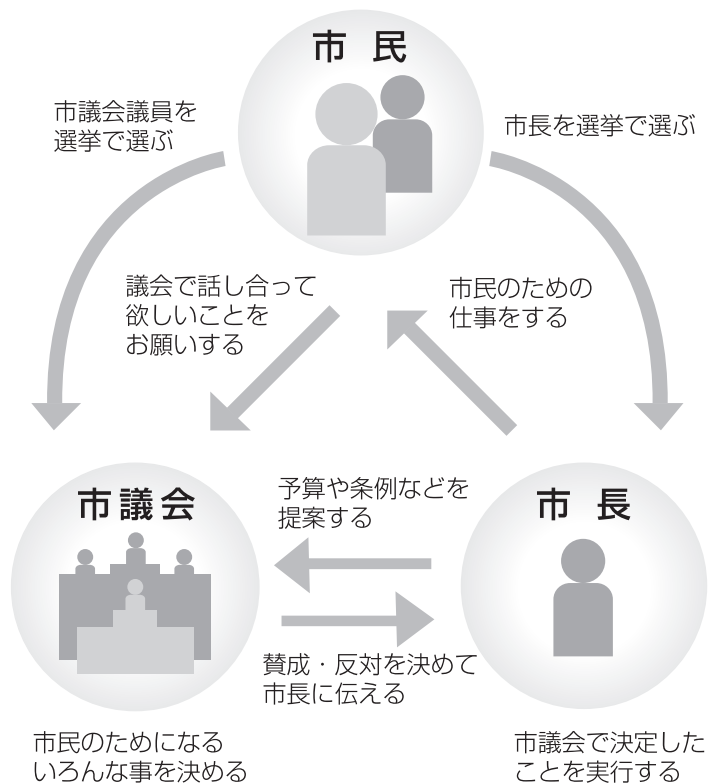
市議会の役割

藤岡市を住みよいまちにしてい
くためには、市民1人1人が、自
分たちの責任でいろいろな問題を
解決していくことが一番いい方法
です。しかし、すべての市民が集
まって話し合うことは現実的に不
可能です。

そこで、選挙によって市民の代
表者を選び、市民にかわって市政
の運営を委ねます。この代表者が
「市議会議員」と「市長」です。

市議会議員で構成される議会は、
市長が市政を行うのに必要な予算
や条例等を決め、市長は市民の代
表である議会の意思にそって、住
みよいまちづくりを進めていきます。

このようなことから、市議会を
「議決機関」、市長を「執行機関」
と呼び、お互いに対等の立場に立
ちながら、それぞれの役割や権限
を尊重しつつ市民の声を市政に反
映させ、車の両輪のように均衡を
とりながらより良いまちづくりを
進めています。



◎掲載してある一般質問は要約してあります
ので、詳しくは藤岡市のホームページや、図
書館・市役所相談室で会議録（6月上旬公開
予定）をご覧下さい。

市議会を傍聴しよう 問い合わせ 市議会事務局
(☎1211 内線2361)

議会は3・6・9・12月の定例会と随時
の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市役所2階議会事務局
前の傍聴人受付へ申し込んでください。

**編
集
後
記**

若葉の緑もしだいに色濃く
なり、さわやかな季節となり
ました。

年度末の3月に都市計画道
路中・上大塚線と小林立石線
が開通し、4月には総合学習
センターがオープン。また、
藤岡女子高校跡地には藤岡市
初の大学、群馬医療福祉大学
看護学部が開学しました。
都市基盤の整備など、まだ
まだ遅れが目立つ藤岡市では
ありますが、地域経済の発展
とともに、多くの若者が集い、
住んでもらえるようにしてい
かなければならないと思いま
す。

平成22年3月定例会におい
て、平成22年度一般会計予算
をはじめ、13の特別会計予算
が可決されました。
また、一般質問は8名の議
員が行い、市民生活に直結す
る問題について活発な質疑応
答が行われました。

「議会だより」も第50号と
なり、市民の皆様には議会活動
がより一層ご理解をいただけ
るような「議会だより」に読み
やすい「議会だより」にしてい
きたいと思っております。今後と
も、よろしくお願いたします。

湯井	吉田	松村	窪田	渡辺	冬木	佐藤	反町
委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員
廣志	達哉	晋之	行隆	徳治	一俊	清淳	

議案等審議結果＜3月定例会＞

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
第 1 号	三波川財産区管理会委員の選任について	同意（全員一致）
第 2 号	藤岡市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決（全員一致）
第 3 号	藤岡市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決（全員一致）
第 4 号	藤岡市職員の公益的法人等への職員派遣等に関する条例の一部改正について	可決（全員一致）
第 5 号	藤岡市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について	可決（全員一致）
第 6 号	藤岡市生活介護センターの設置及び管理に関する条例の制定について	可決（全員一致）
第 7 号	藤岡市障害者就労支援センターの設置及び管理に関する条例の制定について	可決（全員一致）
第 8 号	藤岡市小口資金融資促進条例の一部改正について	可決（全員一致）
第 9 号	藤岡市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の制定について	可決（全員一致）
第 10 号	藤岡市簡易水道事業等の設置等に関する条例の一部改正について	可決（全員一致）
第 11 号	藤岡市教育研究所設置に関する条例の一部改正について	可決（全員一致）
第 12 号	藤岡市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決（全員一致）
第 13 号	群馬県市町村会館管理組合の規約変更に関する協議について	可決（全員一致）
第 14 号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	可決（全員一致）
第 15 号	群馬県後期高齢者医療広域連合の規約変更に関する協議について	可決（全員一致）
第 16 号	工事請負契約の締結の議決事項の変更について	可決（全員一致）
第 17 号	工事請負契約の締結の議決事項の変更について	可決（多数）
第 20 号	平成 21 年度藤岡市一般会計補正予算（第 5 号）	可決（多数）
第 21 号	平成 21 年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第 3 号）	可決（全員一致）
第 22 号	平成 21 年度藤岡市老人保健事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決（全員一致）
第 23 号	平成 21 年度藤岡市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	可決（全員一致）
第 24 号	平成 21 年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第 3 号）	可決（全員一致）
第 25 号	平成 21 年度藤岡市介護老人保健施設特別会計補正予算（第 1 号）	可決（全員一致）
第 26 号	平成 21 年度藤岡市学校給食センター事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決（全員一致）
第 27 号	平成 21 年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決（全員一致）
第 28 号	平成 21 年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決（全員一致）
第 29 号	平成 21 年度藤岡市簡易水道事業等特別会計補正予算（第 1 号）	可決（全員一致）
第 30 号	平成 21 年度藤岡市三波川財産区特別会計補正予算（第 1 号）	可決（全員一致）
第 31 号	平成 21 年度藤岡市水道事業会計補正予算（第 1 号）	可決（全員一致）
第 32 号	平成 21 年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計補正予算（第 2 号）	可決（全員一致）
第 33 号	平成 22 年度藤岡市一般会計予算	可決（多数）
第 34 号	平成 22 年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決（全員一致）
第 35 号	平成 22 年度藤岡市老人保健事業特別会計予算	可決（全員一致）
第 36 号	平成 22 年度藤岡市後期高齢者医療特別会計予算	可決（全員一致）
第 37 号	平成 22 年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計予算	可決（全員一致）
第 38 号	平成 22 年度藤岡市介護老人保健施設特別会計予算	可決（全員一致）
第 39 号	平成 22 年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決（全員一致）
第 40 号	平成 22 年度藤岡市学校給食センター事業特別会計予算	可決（全員一致）
第 41 号	平成 22 年度藤岡市下水道事業特別会計予算	可決（全員一致）
第 42 号	平成 22 年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計予算	可決（全員一致）
第 43 号	平成 22 年度藤岡市簡易水道事業等特別会計予算	可決（全員一致）
第 44 号	平成 22 年度藤岡市三波川財産区特別会計予算	可決（全員一致）
第 45 号	平成 22 年度藤岡市水道事業会計予算	可決（全員一致）
第 46 号	平成 22 年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計予算	可決（全員一致）
議員提出議案		
第 1 号	（主）高崎神流秩父線（小梨峠を経由する日野～吉井間）の改良、建設促進を求める意見書の提出について	可決（全員一致）
陳 情		
第 1 号	（主）高崎神流秩父線（小梨峠を経由する日野～吉井間）の改良、建設促進を求める陳情	採択（全員一致）